

CA19-9

癌抗原19-9キット

CA19-9 (Carbohydrate Antigen 19-9)は、1979年にKoprowskiらにより発見された消化器癌関連抗原です¹⁾。

CA19-9は抗原決定基としてシアリルルイスA糖鎖を持つ抗原であり、血中ではムチン型糖たん白質の形で存在しています。CA19-9は腫瘍組織以外にも膵臓、胆嚢、胎便、唾液などに含まれています。血清中CA19-9が高値を示す症例は、膵臓癌、胆道系癌、大腸癌、肝臓癌に陽性例が報告されており、特に膵臓癌、胆道系癌に多くの陽性例が認められます²⁾。

膵臓、胆道系の悪性腫瘍の診断、治療効果の判定、及び経過観察に有効な検査として、CA19-9の測定は広く利用されています。

※血中CA19-9濃度は、ルイス遺伝子型によって異なり、特にLe(a-b-)では殆どCA19-9が産生されません。日本人ではこのLe(a-b-)型がおよそ1割を占めるといわれており、検査結果を判断する上で注意が必要です³⁾。

1) Koprowski H., et al., Somatic Cell Genetics, 5, 957 (1979)

2) Delvilano B. et al., Clin. Chem., 29, 549 (1983)

3) 岸野 他、近畿大医誌、34(1), 75-82 (2009)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (CA19-9)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (CA19-9) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (CA19-9) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法) 結果報告 約20分

測定範囲 1. 0~400 U/mL

健常人参考値 ≤ 37 U/mL⁴⁾

4) 高橋 他、医学と薬学、31, 393 (1994)